

はじめに

大切なお子さんが突然体調を崩して苦しんでいるとき、頼りになるのは小児科のお医者さんです。しかし、いま、小児科医の不足が全国的に問題になっています。その原因の一つが、救急医療体制への不理解から、時間外に病院を受診してしまう軽症患者が増えていることによる、小児科医の疲弊です。

日南市でも、地域で唯一子どもの入院治療ができる医療機関である県立日南病院の小児科が、平成21年に閉鎖の危機に陥りました。県立日南病院の小児科がなくなってしまうと、子どもに高度な治療が必要になった際、宮崎市内の病院まで搬送しなければならなくなってしまうのです。

そのような事態を防ぐためにも、市民の皆さまには、「救急医療電話相談」や「日南市初期夜間急病センター」などを上手に活用していただき、救急医療体制へのご理解と病院の適正受診へのご協力をお願い申し上げます。

この冊子は、お子さんの体調が悪いときに、家で様子をみても大丈夫なのか、それともすぐ病院へ連れていくべきなのかの判断の目安として役立てていただきたいと思い作成しました。いざという時のために日頃から目を通していただき、大切なお子さんを守るためにご活用いただければ幸いです。

平成28年 日南市

※全ての症状にあてはまるわけではありませんので、あくまでも参考として、子育てにご活用ください。